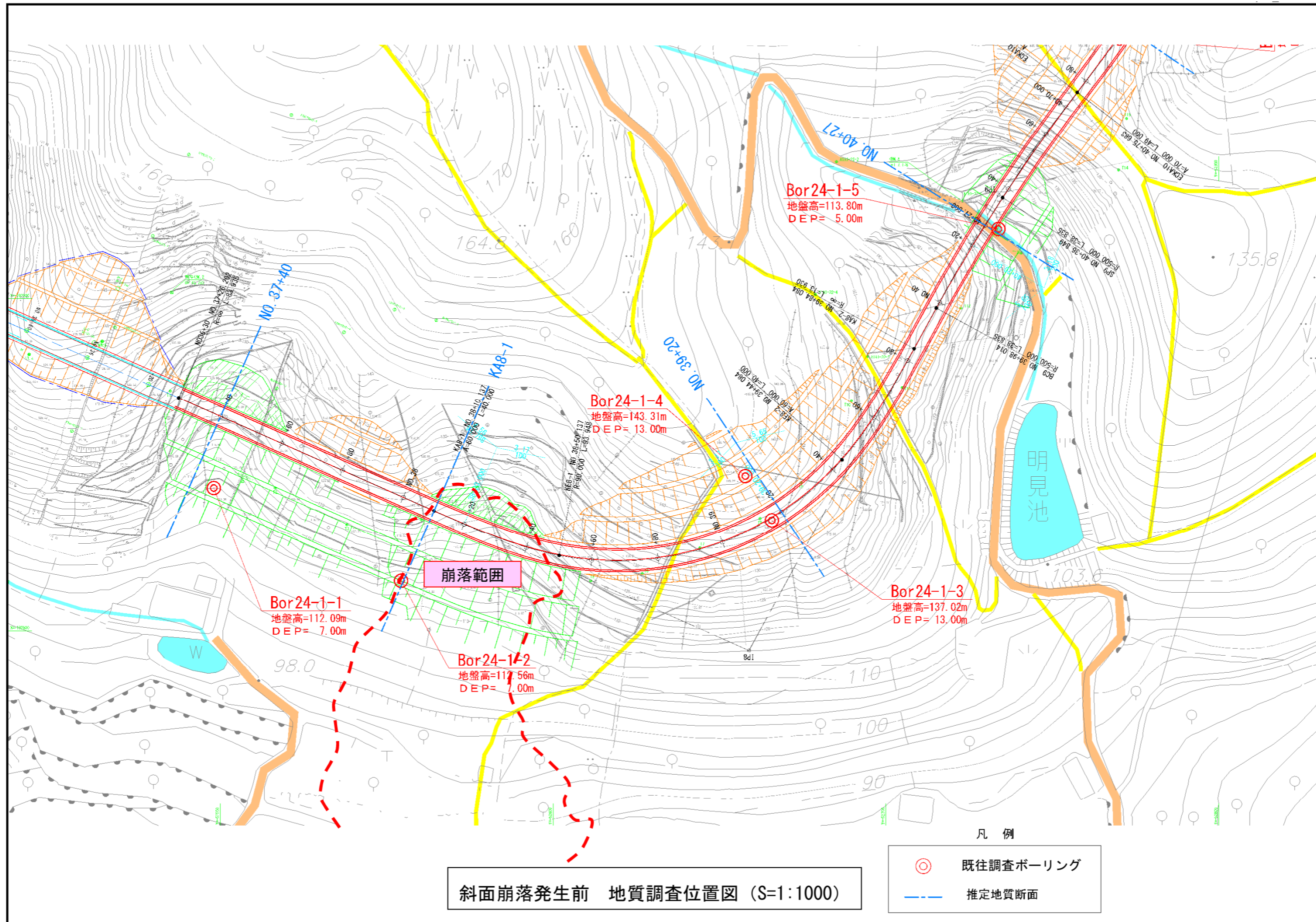


斜面崩落発生前の地質調査資料の整理



斜面崩落発生箇所近傍の調査ボーリング結果を以下に示す。

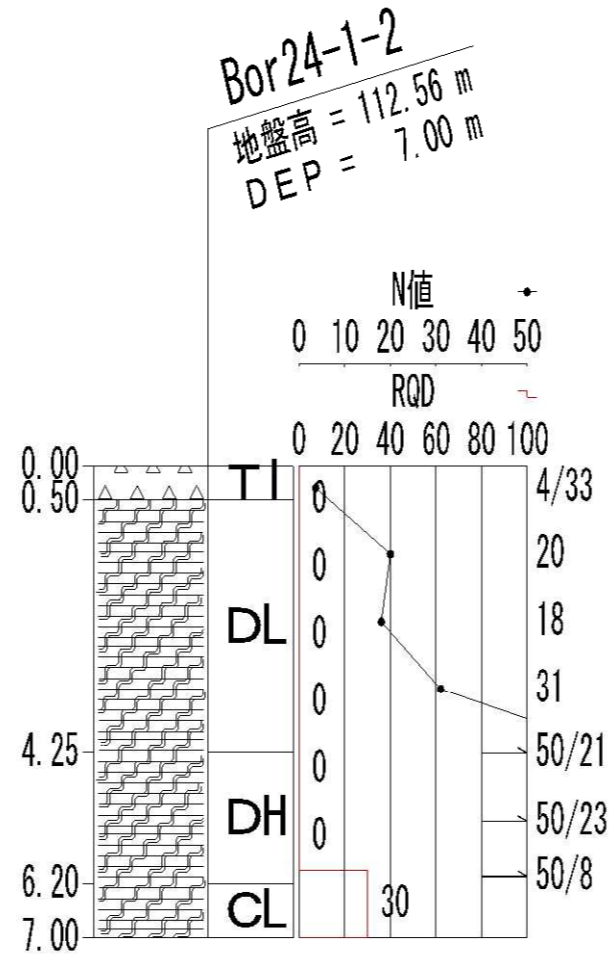
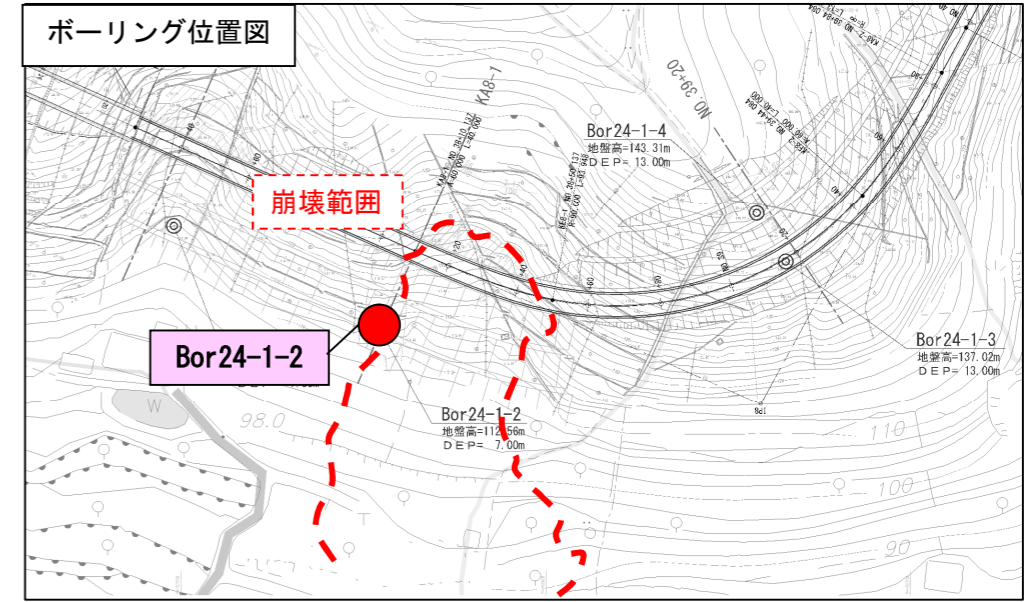
(「H24 広域 2-8 紀の里地区 (粉河工区) 地質調査」 報告書より抜粋)

1) Bor24-1-2

- 孔番号 : Bor24-1-2
- 地盤標高 : 112.56m
- 調査深度 : 7.00m

掘進時の地下水位 (H24)
 Bor24-1-2
 12/27: 水位なし (作業前)

地層区分	地質状況
崖錐性堆積物	0.00~0.50m : 崖錐性堆積物 【赤褐色】 ・主に粘土質砂礫状の崖錐性堆積物。 ・礫はφ5~20mmの垂角礫, 角礫主体。 ・砂は中砂~粗砂主体。 ・全体に粘土を多く混入。 ・表層は植物根を混入。
DL 級 岩 盤	0.50~4.25m : 苦鉄質片岩 (DL) 【赤褐色】 ・風化変質が著しい風化岩。 ・土砂状主体の DL 級岩盤。 ・岩芯まで風化しており, 軟質。 ・3.75~3.95m 間は未風化の石英片岩が挟在。
DH 級以上の岩盤	4.25~6.20m : 苦鉄質片岩 (DH) 【暗褐~暗褐灰色】 ・風化が進む風化岩。 ・土砂状~礫状主体の DH 級岩盤。 ・所々に片状コアが挟在。
	6.20~7.00m : 苦鉄質片岩 (CL) 【暗緑褐~暗緑灰色】 ・亀裂が多い基盤岩。 ・短柱状コア主体の CL 級岩盤。 ・岩種は苦鉄質片岩主体。 ・全体的に亀裂面は褐色化している。 ・6.65m 以浅はコア外周が褐色化している。

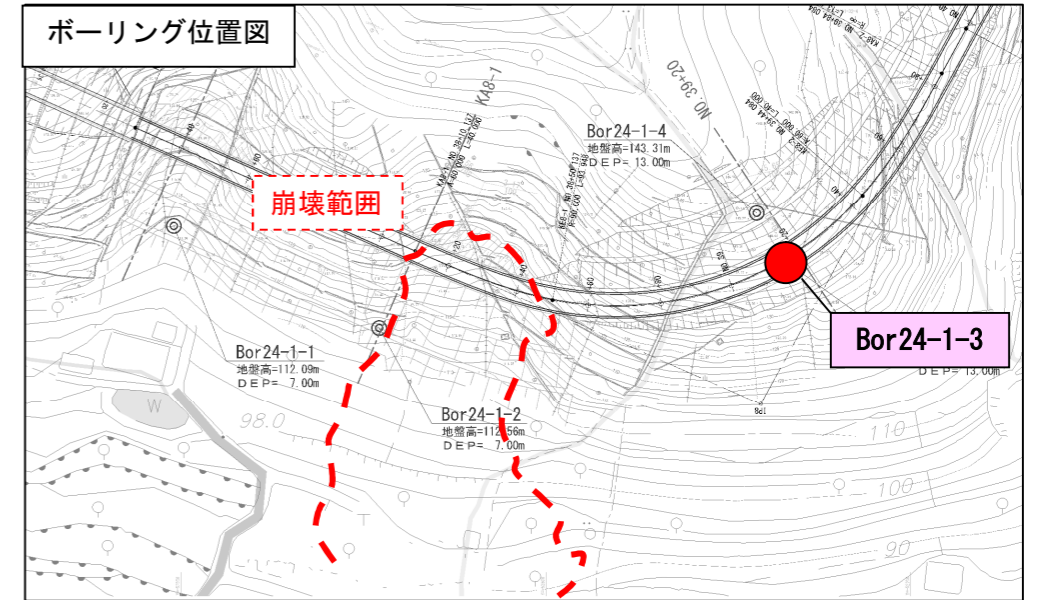
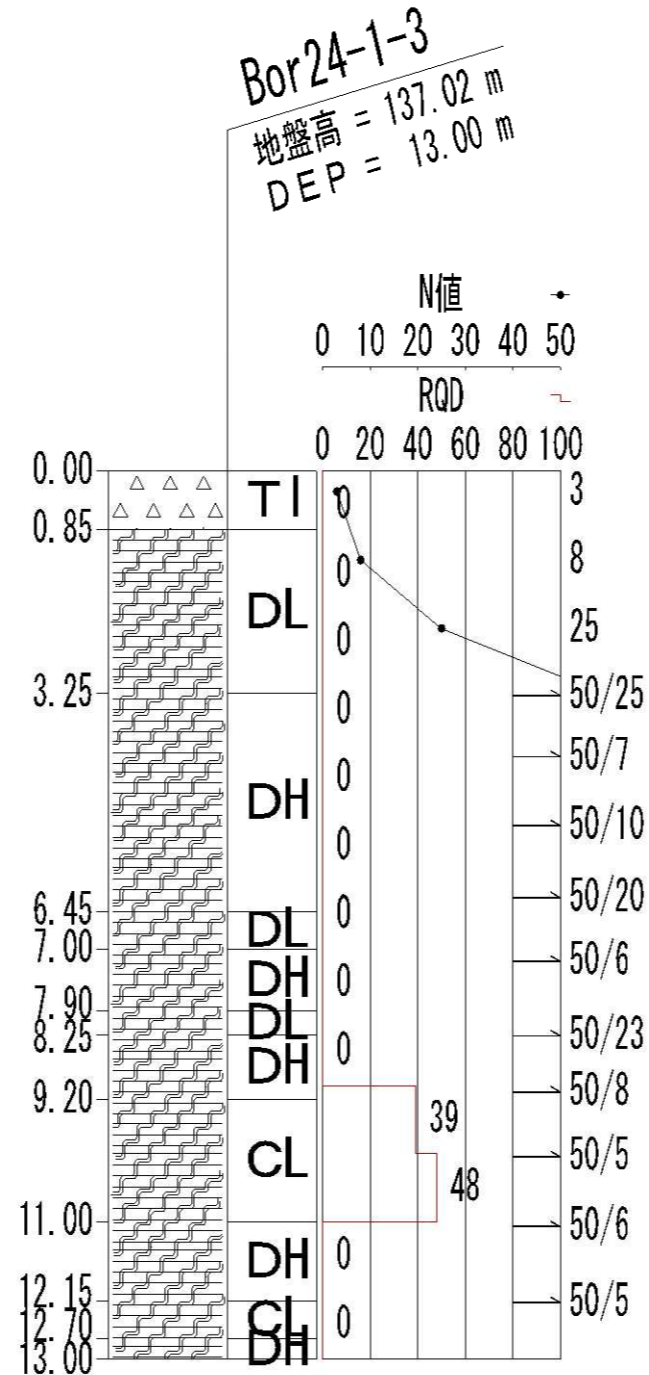


2) Bor24-1-3

- 孔番号: Bor24-1-3
- 地盤標高: 137.02m
- 調査深度: 13.00m

掘進時の地下水位 (H24)
Bor24-1-3
 1/12: 水位なし (作業前)
 1/15: 水位なし (作業前)
 1/16: 水位なし (作業前)

地層区分	地質状況
崖錐性堆積物	0.00~0.85m: 崖錐性堆積物 【暗褐~赤褐色】 ・主に粘土質砂礫状の崖錐性堆積物。 ・φ5~20mmの垂角礫主体。 ・砂は中砂~粗砂主体。 ・全体に粘土を多く混入。 ・表層は植物根を混入
DL級岩盤	0.85~3.25m: 苦鉄質片岩(DL) 【赤褐~暗黄褐色】 ・土砂状主体のDL級岩盤。 ・岩芯まで風化しており軟質。
	3.25~6.45m: 苦鉄質片岩(DH) 【暗褐色】 ・礫状~片状コア主体のDH級岩盤。
	6.45~7.00m: 苦鉄質片岩(DL) 【暗赤褐色】 ・土砂状主体のDL級岩盤。 ・所々に礫状が挟在。
	7.00~7.90m: 苦鉄質片岩(DH) 【暗緑褐色】 ・礫状~片状コア主体のDH級岩盤。
	7.90~8.25m: 苦鉄質片岩(DL) 【暗褐色】 ・土砂状主体のDL級岩盤。 ・岩芯まで風化しており軟質。
DH級以上の岩盤	8.25~9.20m: 苦鉄質片岩(DH) 【暗褐色】 ・礫状~片状コア主体のDH級岩盤。
	9.20~11.00m: 苦鉄質片岩(CL) 【暗緑褐色】 ・短柱状コア主体のCL級岩盤。
	11.00~12.15m: 苦鉄質片岩(DH) 【暗褐~暗緑褐色】 ・礫状~片状コア主体のDH級岩盤。
	12.15~12.70m: 苦鉄質片岩(CL) 【暗緑褐色】 ・片状~短柱状コア主体のCL級岩盤。
	12.70~13.00m: 苦鉄質片岩(DH) 【暗褐色】 ・礫状~片状コア主体のDH級岩盤。



3) Bor24-1-4

- 孔 番 号 : Bor24-1-4
- 地盤標高 : 143.31m
- 調査深度 : 13.00m

掘進時の地下水位 (H24)

Bor24-1-4

- 1/18:水位なし (作業前)
- 1/19:GL- 5.75m(作業前)
- 1/21:水位なし (作業前)

地層区分	地質状況
崖錐性堆積物	<p>0.00~0.65m : 崖錐性堆積物 【暗褐~赤褐色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に粘土質砂礫状の崖錐性堆積物。 ・φ5~15mmの亜角礫主体。 ・砂は中砂~粗砂主体。 ・全体に粘土を多く混入。 ・表層は植物根を混入。
D L 級 岩 盤	<p>0.65~2.00m : 苦鉄質片岩 (DL) 【赤褐色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂状主体のDL級岩盤。 ・岩組織を僅かに残すが、岩芯まで風化しており軟質。 <p>2.00~4.95m : 苦鉄質片岩 (DH) 【暗黄褐~暗褐色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礫状~片状コア主体のDH級岩盤。 ・2.37~2.50m, 4.32~4.40m間は土砂状。 ・全体的に亀裂面は褐色化している。 <p>4.95~5.80m : 苦鉄質片岩 (DL) 【赤褐色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂状主体のDL級岩盤。 ・岩芯まで風化しており軟質。 <p>5.80~7.00m : 苦鉄質片岩 (DH) 【赤褐~暗褐色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礫状~片状コア主体のDH級岩盤。 ・岩種は苦鉄質片岩主体で、6.40~6.55m間は石英片岩が挟在。 <p>7.00~7.60m : 苦鉄質片岩 (DL) 【暗褐色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂状主体のDL級岩盤。 ・岩芯まで風化しており軟質。
DH 級以上の岩盤	<p>7.60~13.00m : 苦鉄質片岩 (DH) 【暗褐色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風化が進む風化岩。 ・礫状~片状コア主体のDH級岩盤。 ・11.60~11.80m, 12.30~12.40m間は短柱状コア。 ・岩種は苦鉄質片岩主体で、8.30m, 8.95~9.00m, 10.40m付近は石英片岩が挟在。 ・全体的に亀裂面は褐色化している。

